

BCP策定事例紹介① 三昭紙業株式会社様



取締役 佐々木 文明 様

【プロフィール】

- ・ 設 立 昭和 42 年 4 月
- ・ 本社工場 土佐市北地 2424-7
- ・ 東京営業所 東京都千代田区神田多町 2-9-14
- ・ 事業内容 ウエットティッシュ・化粧品・医薬部外品・キッチンペーパー等の一般用及び販促ギフト用家庭紙各種の加工・販売
- ・ 社 員 208 名

BCP は、直接利益にならない、担当者がいない、やり方がわからない、他の業務が忙しい。

これが、BCP を策定していない理由でした。

そんなある日、高知県を台風が通過し大きな被害が出ているというニュースを見たお客様から、「三昭紙業さん、大丈夫ですか？」という問い合わせがあったのです。それも複数の取引先様から・・・

最近では、多くの取引先からCSR（企業の社会的責任）に関するアンケート調査があります。

その中に必ず「BCPを策定しているか」という質問があります。いくら安くてよい商品を製造したとしても、BCP対策をしていないと、お客様から見れば、安定的な製品供給に不安があるとみられ取引をしてくれないのです。台風被害があるたびに問い合わせが入るのは、そういう理由だとわかりました。

そこで、経営会議でBCPを策定するという方針を決定し、高知県BCP策定講座に参加して、BCPを策定いたしました。総務部門だけではなく、製造部門や調達部門の責任者も巻き込んで体制を構築したことが良かったと思います。

BCP対策により、台風など災害時にすぐに対応できるようになりました。また、問題点を可視化できた、役割分担が明確になった、備蓄品が一目でわかるようになった、など、BCP策定のメリットはたくさんあります。そして何よりも、取引先からの信頼度が上がったということが、平時の事業活動における「経営戦略」という点でも非常に大きな意義があったと思います。